

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社

会社説明会



2018年9月21日

証券コード 2579

将来の業績に関する見通しについて

本資料に記載の事業計画、業績予想、および事業戦略は、本資料配布時点での情報を考慮した上でコカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社（以下CCBJHまたは当社）経営陣の仮定および判断に基づくものです。これらの予想は、以下のリスクや不確定要因により、実際の業績と大きく異なる可能性があることに留意してください。

なお、リスクおよび不確定要因は以下のものに限られるものではありません。CCBJHの有価証券報告書等にも記載されていますので、ご参照ください。

- ・ザ コカ・コーラ カンパニーおよび日本コカ・コーラ株式会社との契約
- ・製品の品質・安全性
- ・市場競争
- ・天候、災害、水資源等の自然環境
- ・法規制
- ・情報漏えい・消失
- ・個人消費動向、為替レート、原材料費、保有資産等の時価等、経済状況の変化による影響
- ・経営統合、業務プロセスの効率化・最適化による影響
- ・上記以外の不確定要因

本資料の情報は、情報の提供を目的としており、CCBJH発行の証券への投資勧誘を目的するものではありません。

また、CCBJHは新しい情報あるいは将来のイベントにより、本資料の内容を更新する義務を負いません。皆様におかれましては、CCBJH発行の証券に投資する前に、ご自身の独立した調査に基づいて判断をお願いいたします。



コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 会社説明会

コカ・コーラ ボトラーズジャパンについて

事業内容紹介

業績概要・財務戦略等





コカ・コーラ ボトラーズジャパン について

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

日本のコカ・コーラボトラー統合史の決定的瞬間

2017年4月1日、コカ・コーラ ボトラーズジャパン発足

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

Coca-Cola West
(CCW) + **Coca-Cola East Japan**
(CCEJ)

北九州
山陽
三笠
近畿
南九州
四国



東京
利根
三国
富士
中京
仙台



Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

世界最大級のコカ・コーラボトラー

- 売上高世界第3位の
コカ・コーラボトラー
- 50超のブランドの製品を
提供する「総合飲料企業」
- 国内コカ・コーラシステムの
約9割の販売数量を担う



データは2017年12月末時点

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

企業理念 : THE ROUTE



ミッション

みんなと地域の日々に、
ハッピーな瞬間と
さわやかさを

コーポレートアイデンティティ

- | | |
|----------------------|---|
| 地域密着 | 私たちには、長年にわたって育んできた、環境や地域社会とのつながりを たいせつにし、共創価値(CSV)を実現していきます |
| 顧客起点 | 私たちには、常に顧客(お客様とお得意さま)を中心に考え、顧客から学び、 信頼されるパートナーをめざします |
| 品格 | 私たちには、人権を尊び、規範を重んじ、法令を遵守することとともに、常に高 い倫理観を持ち続けます |
| ダイバーシティ (多様性/多面性) | 私たちには、社員一人ひとりの人格や個性を尊重し、能力を発揮できる環境 を整え、様々な価値観やアイディアを積極的に取り入れます |

カルチャー

- ① 「歴史と伝統」を重んじつつ、「未来」へ前進します
- ② 人生と仕事に「情熱」を燃やします
- ③ 「倫理」に基づく正しい判断をします
- ④ 自ら考え、「責任」ある行動をします
- ⑤ 楽しむことを忘れないで「挑戦」し続けます
- ⑥ 年齢や立場にとらわれず「敬意」をもって行動します
- ⑦ 「連携」をたいせつにします
- ⑧ 「シンプル・スピーディー」を追求します

コカ・コーラシステム

コカ・コーラのしくみはフランチャイズシステム

The Coca-Cola Company

日本コカ・コーラ株式会社

(フランチャイザー)

- ブランド
- イノベーション
- グローバル視点
- お客さま志向
- 卓越した洞察力

日本コカ・コーラより
原液を購入し、製品を製造



Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

(フランチャイジー)

- 顧客志向
- 地域密着
- 業界最高の市場実行力
- 最終製品生産
- 物流・配送
- コスト最適化



Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.



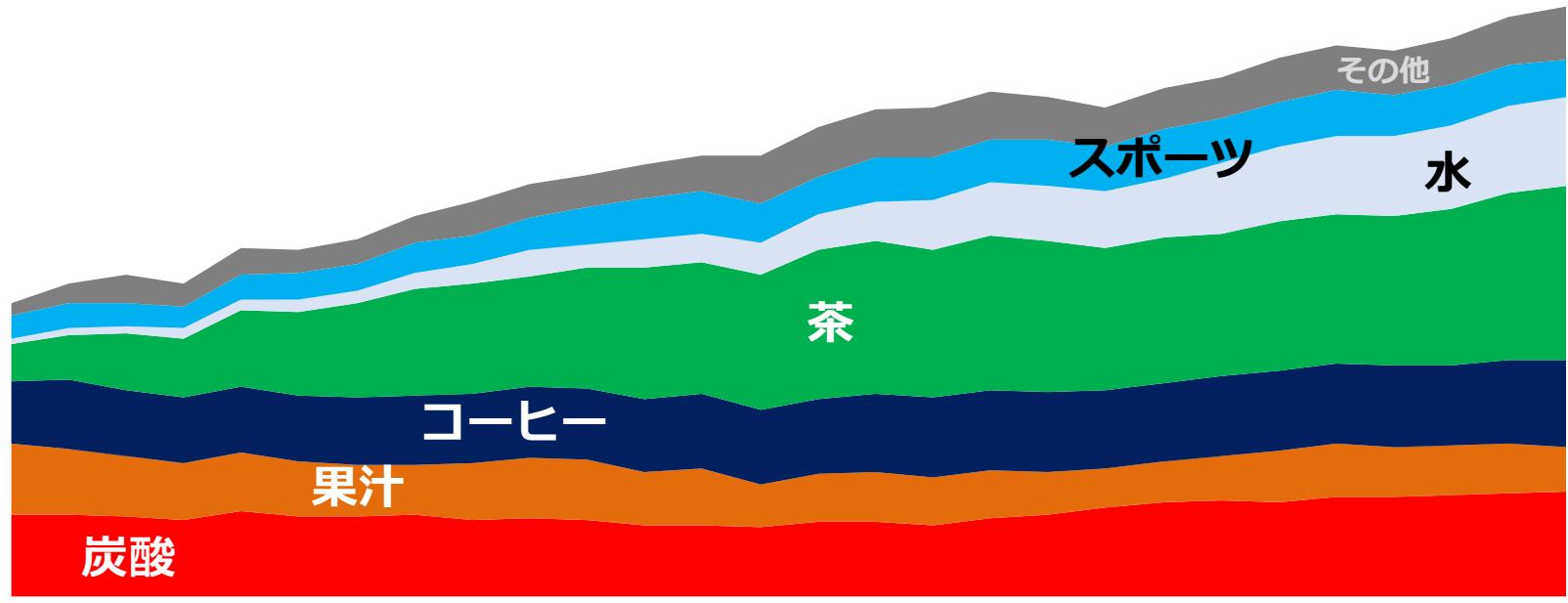
飲料事業

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

成長する日本の清涼飲料市場

カテゴリーの多様化等で、清涼飲料市場は成長

■日本の清涼飲料市場 生産量推移



1990

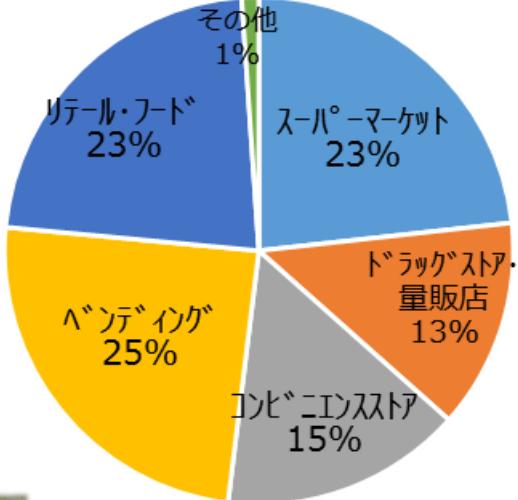
2017

出典：全国清涼飲料工業会

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

チャネル別販売数量構成

スーパーマーケット、ドラッグストア、量販店、コンビニエンスストアが成長を牽引

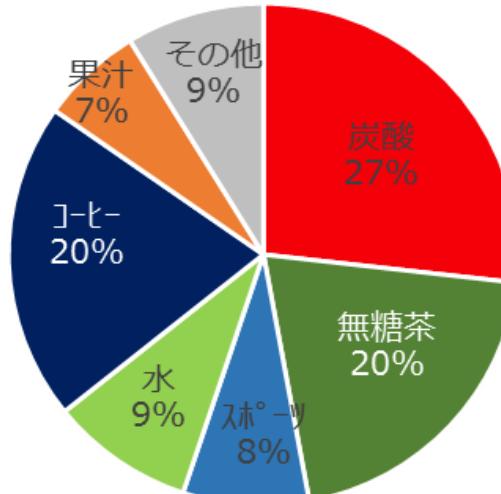


2018年上期(1-6月)実績

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

カテゴリー別数量構成

主要カテゴリーに主力のブランド・製品を保有



2018年上期(1-6月)実績

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

イノベーション事例

トクホ(特定保健用食品)



機能性表示食品



スマホアプリ Coke ON



アルコール飲料



九州限定で試験導入中

地域限定製品



自動販売機 専用製品



Coke ON スマートフォンアプリ

- ・スタンプが15個たまると、無料のドリンクチケットがもらえます。



ドリンクチケットをプレゼントする/もらう



「Coke ON ウォーク」



Coke ONアプリ
ダウンロードはこちら



Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.



ヘルスケア・
スキンケア事業

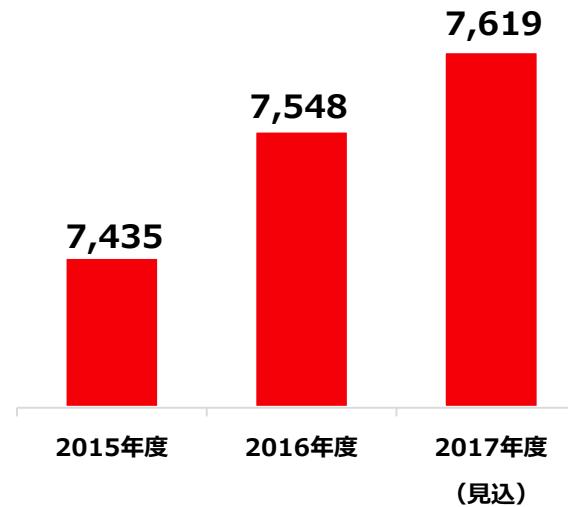
Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

成長する健康食品市場および化粧品市場

両市場ともに成長し続けており、今後も成長が見込まれる

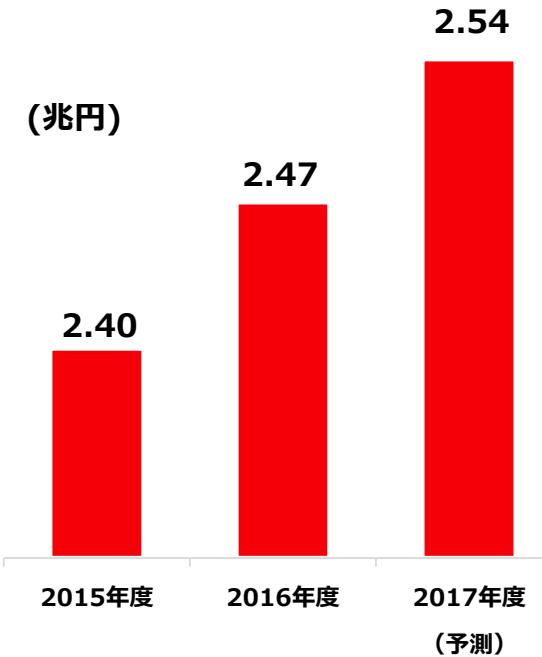
健康食品市場規模推移

(億円)



化粧品市場規模推移

(兆円)



出典：株式会社矢野経済研究所

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

ヘルスケア・スキンケア事業の概要

ヘルスケア、スキンケアの両分野に主力商品を保有。主なチャネルは通信販売

ヘルスケア



ケール青汁



グルコサミンZ



はちみつ青汁



Q'SAI Kale Cafe 表参道
(東京・表参道、2018年6~7月限定展開)

機能性表示食品



ひざサポート ライラック
コラーゲン 01乳酸菌

スキンケア



コラリッチシリーズ



公式 ショッピングサイト

キューサイ[®]

キューサイ

公式ショッピングサイトも是非どうぞ

飲料事業との コラボレーション

おいしい青汁できました。



キューサイの
青汁使用

ミニッツメイド
おいしいフルーツ青汁



Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.



業績概要・ 財務戦略等

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.



平成30年7月
豪雨の影響

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

工場、倉庫、地域物流機能等に多大な影響 被災した本郷工場は当社サプライチェーンの重要な拠点のひとつ

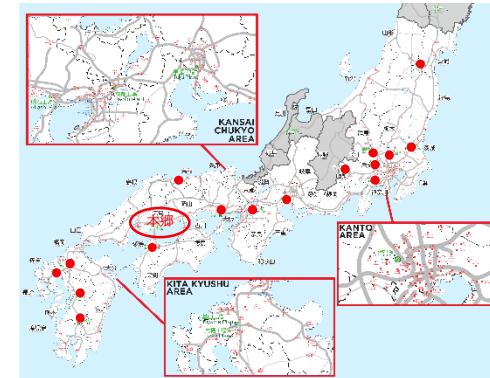
本郷工場 概要

- 所在地：広島県三原市
- 3つの製造ライン、全体の約5%の製造能力
 - アセプティック(無菌充填)PET
 - 炭酸PET
 - コーヒー(缶/ボトル缶)
- 隣接の物流拠点は自動倉庫を備えたエリアの中核物流拠点
 - 被災時、最盛期に備えた製品在庫約150万ケースを保管

被災状況（当初）

- 製造設備3ラインすべて操業不能
- 自動倉庫機能停止
- 工場敷地内の社員寮居住不能
- 製品在庫は浸水被害により廃棄見込み
- 被災地域内で2,000台以上の自動販売機等の販売機器が被害
- 被害を受けた工場設備および在庫等の簿価：約90億円
- 鉄道、道路網寸断により、交通網が混乱。物流手段の確保が困難に

当社エリア内17工場



被害は広範囲に及んだ



本郷工場出荷エリア
(7月7日時点)

本郷工場倉庫内
(7月9日時点)



被害の影響と今後について

- ・豪雨被害は甚大であるが、着実な復旧を目指す
 - ・CCBJHグループ一丸となり、最優先で復旧作業と供給体制再構築を実施中
- ・通期業績予想は未定とし（8月10日付）、被害の影響等を精査した上で改めて公表
- ・成長を目指すこれまでの戦略と方向性に変更はない
 - ・2018年のシナジー創出計画は変更なし（少なくとも80億円）
 - ・お客さまの嗜好の変化に対応した製品導入と供給力確保に向けた投資
 - ・猛暑や災害の経験を踏まえ、機動的かつリスク耐性のあるサプライチェーンネットワークを構築





- 業績概要
- 財務戦略
- 株主還元

上期連結業績

経営統合により売上高は増加するも、のれん償却費用の発生等により営業利益は減少

| | 2018年上期 | 2017年上期 | 増減 |
|-------------------|---------|---------|---------|
| 売上高 | 466,686 | 357,837 | +30.4% |
| 売上原価 | 225,809 | 172,659 | +30.8% |
| 売上総利益 | 240,876 | 185,177 | +30.1% |
| 販管費 | 225,654 | 168,079 | +34.3% |
| 営業利益 | 15,221 | 17,098 | -11.0% |
| 税金等調整前当期純利益 | 15,085 | 16,357 | -7.8% |
| 当期純利益 | 8,845 | 9,692 | -8.7% |
| 1株当たり四半期純利益 (EPS) | 44.91円 | 64.65円 | -19.74円 |

| 飲料事業 | 2018年 上期 | 2017年 上期 | 増減 | ヘルスケア・ スキンケア事業 | 2018年 上期 | 2017年 上期 | 増減 |
|------|-------------|-------------|--------|-------------------|-------------|-------------|-------|
| 売上高 | 452,245 | 342,817 | +31.9% | 売上高 | 14,440 | 15,019 | -3.9% |
| 営業利益 | 13,417 | 15,430 | -13.0% | 営業利益 | 1,803 | 1,667 | +8.2% |

*2017年上期は、第1四半期までは統合前のコカ・コーラウエストの業績です。

単位：EPS除き百万円

当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

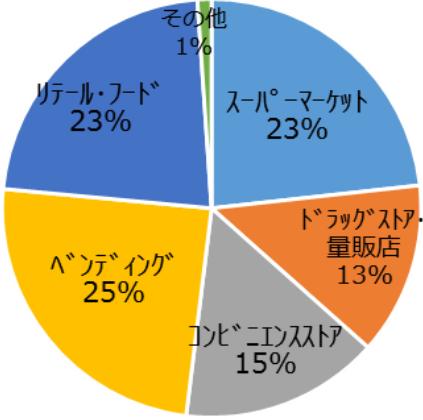


上期販売数量（プロフォーマ）は前年並み

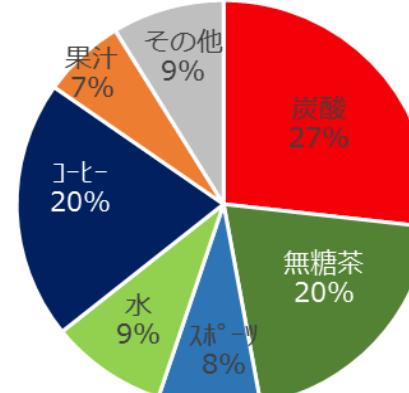
スーパー、ドラッグ・量販店、コンビニ等手売りチャネルが新製品で成長

炭酸と無糖茶カテゴリーの成長が続き、コーヒーは新製品導入で第2四半期に改善

チャネル別



カテゴリー別



| 前年同期比 | 販売数量 |
|-------------|------|
| スーパー・マーケット | +5% |
| ドラッグストア・量販店 | +7% |
| コンビニエンスストア | +1% |
| ベント | -6% |
| リテール・フード | -2% |

| 前年同期比 | 販売数量 |
|-------|------|
| 炭酸 | +5% |
| 無糖茶 | +4% |
| スポーツ | -3% |
| 水 | -7% |
| コーヒー | -4% |
| 果汁 | -2% |

プロフォーマ：実質業績。2017年1月から経営統合されていたものと仮定した業績。また、2018年の実績をその業績と比較したもの

上期の主な新製品



コカ・コーラ ピーチ



コカ・コーラ クリア



カナダドライ ザ・タンサン



ジョージア ジャパン クラフトマン



綾鷹 茶葉のあまみ



綾鷹 ほうじ茶



紅茶花伝 クラフティー
贅沢しづくオレンジティー



爽健美水



アクエリアス S-Body



い・ろ・は・す 白桃



最近の新製品、マーケティング活動

秋冬に向けた缶コーヒーの強化、緑茶ブランド「綾鷹」にトクホ導入

ジョージア グラン微糖 9月3日発売



ジョージアグラン 微糖

高級豆を中心に通常よりも30%多く豆を使い、丁寧な深煎り焙煎でしっかりとしたコーヒーの味わいを実現

綾鷹 特選茶 9月24日発売



緑茶ブランド「綾鷹」ならではの旨みのある、豊かな味わいを実現したトクホ

そのほかの 主な新製品



コカ・コーラ
プラスコーヒー
(コンビニ/ベンディング専用)



カナダドライ
ジンジャーエールダブル
(機能性表示食品)



ジョージア
イタリアブレンド
(ベンディング専用)



ジョージア
ル・カフェ



ファンタ
ふるふるシェイカー



い・ろ・は・す
二十世紀梨



ヨーグルスタンド
B1乳酸菌



株主価値向上に向けた財務戦略

配当方針

- ▶ 積極的な利益還元を行うことを利益配分に関する基本方針としながら、安定的な配当を最優先
- ▶ 國際会計基準適用の2019年以降、配当性向30%以上を目安

2018年
年間配当予想

50

円／株

| 中間 | 期末(予想) |
|-----------|-----------|
| 25 円／株 | 25 円／株 |

業績連動型株式報酬制度

- ▶ 3年間の業績に連動
- ▶ 対象者：業務執行取締役・執行役員
 - ▶ 売上高とROE目標達成度に基づく株式受領権の交付
 - ▶ 目標達成度に応じて受領株式数が変動
 - ▶ 目標値
 - ▶ 連結売上高成長率：2017－2020年(年平均) 2.0%
 - ▶ 連結ROE：2020年12月期 6.6%

自己株式の取得

- ▶ 総額559億円、17,075,239株（発行済株式数の8.28%）の自己株式取得を完了（2018年4月13日）



株主優待制度

- 「株主優待ポイント」制度を導入
- ポイントはコカ・コーラ社製品、コカ・コーラグッズ、社会貢献活動への寄付等に交換可能
- 長期保有株主さまへ優遇制度あり

株主優待商品例

コカ・コーラ社
製品詰合せ



社会貢献活動
(市村自然塾 九州)
への寄付※



コカ・コーラ
東京2020オリンピック
フェイスタオル
マグカップ



※「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念に農作業を中心とした自然体験活動、共同生活を通じて子どもたちの健全な育成・成長を支援するために設立された特定非営利活動法人(NPO)



ホームページ紹介、工場見学案内

IR情報サイト

CoCa-Cola コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 | ENGLISH | お問い合わせ | コカ・コーラ ボトラーズジャパン | サイト内検索

企業情報 | IR・投資家情報 | お取引希望のお客さまへ | 新製品・キャンペーン | 社会との共創価値(CSV) | 採用情報 | ニュース

ホーム > IR・投資家情報

IR・投資家情報



› 社長メッセージ

IR最新資料BOX

最新資料一括ダウンロード
[資料セット] (ZIP形式/9.7 MB)

必要としない項目はチェックを外してください。
 法算定書 (ZIP形式/305 KB)
 法算定会議資料 (ZIP形式/2.84 MB)
 有価証券報告書 (ZIP形式/306 KB)
 アニメアリービュー (ZIP形式/6.27 MB)

株価情報

算証第1部: 2579
2018年08月21日 11:28 (リアルタイム)

取引価格 3,115円
前日比 -100円

株価チャート

Coca-Cola 株主優待サイト
› こちらをご覧ください

検索



工場見学実施工場



CoCa-Cola コカ・コーラ ボトラーズジャパン 工場見学

検索



Coca-Cola BOTTLES JAPAN HOLDINGS INC.



參考資料

2018年 株主優待制度のご案内

毎年12月31日現在で当社株式を100株以上保有する株主さまに対し、保有株式数と保有期間に応じて、「株主優待ポイント」を翌年3月下旬に贈呈いたします。「株主優待ポイント」(1ポイント60円相当)は、当社ホームページの株主優待サイトや商品カタログの中から、コカ・コーラ社製品詰合せや社会貢献活動への寄付などお好きな株主優待商品と交換いただくことができます。



株主優待商品例

コカ・コーラ社 製品詰合せ

社会貢献活動 (市村自然塾 九州)への寄付

コカ・コーラ 東京2020オリンピック フェイスタオル マグカップ

※「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念に農業を中心とした自然体験活動、共同生活を通じて子どもたちの健全な育成・成長を支援するために設立された特定非営利活動法人(NPO)

株主優待に関するお問い合わせ先

コカ・コーラ ポトラーズジャパンホールディングス株主優待事務局
TEL 0120-99-5610 受付時間 10:00~17:00(土日祝日・年末年始を除く)

1 基準日および贈呈時期

対象となる株主さま

毎年12月31日現在において、当社株主名簿に記載または記録された株主さまのうち、1単元(100株)以上を保有する株主さま

贈呈時期 翌年3月下旬

2 株主優待サービスの利用期間

3月下旬~9月末

3 株主優待ポイント

保有株式数に応じて、45~180ポイントを贈呈いたします。



株主優待ポイントの概要

| 保有株式数 | 保有期間3年未満 | 保有期間3年以上 | | |
|----------|----------|-----------|-------------|----------|
| | | ①株主優待ポイント | ②長期保有優待ポイント | 合計①+② |
| 100株以上 | 500株未満 | 45ポイント | 45ポイント | +30ポイント |
| 500株以上 | 1,000株未満 | 60ポイント | 60ポイント | +45ポイント |
| 1,000株以上 | 5,000株未満 | 90ポイント | 90ポイント | +60ポイント |
| 5,000株以上 | | 180ポイント | 180ポイント | +120ポイント |

5 株主優待商品のお申し込みおよびお受け取り時期について

株主優待商品のお申し込みにあたっては、株主さまのご希望にあわせてお受け取り時期(①「通常配達」および②「夏季配達」)をお選びいただけます。

4 長期保有優待ポイント

対象となる株主さまの保有株式数に応じて、長期保有優待ポイントとして30~120ポイントの追加ポイントを贈呈いたします。

長期保有優待制度の対象となる株主さま

3年以上継続して当社株式を

1単元(100株)以上保有する株主さま

- 毎年12月31日現在において、当社株主名簿に同一の株主番号で3年以上継続して1単元(100株)以上保有または記載されている株主さま(同一の株主番号で23年3月現在、6月30日現在、9月30日現在および12月31日現在の株主名簿に算入して、1回以上記載または記録されている株主さま)いたします。ただし、贈贈および無償に伴う株主名簿の範囲内の変更により、株主番号が変更となった場合は限り、株主さまからの申請により长期保有優待制度の対象となりますので、当社の株主名簿管理人である三井住友銀行株式会社証券代行部(TEL 0120-782-031 平日9:00~17:00)までご連絡ください。
- 旧コカ・コーライーストジャパン株式会社の株主さまにつきましては、これまで同社における6月30日現在および12月31日現在の年2回の両社株主名簿の算入による株主名簿を行なっております。現在お問い合わせの6月30日現在の株主名簿は、新たに算入する場合、算入する年より前年(2017年3月31日までの期間)については、併算として、この年2回の株主名簿において、1単元(100株)以上記載または記録を確認することで長期保有優待制度の適用の基準について判断させていただくことといたします。ただし、2017年4月以降、四半期ごとの株主名簿に記載または記録があることを长期保有優待制度の適用条件といたします。



Coca-Cola BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.

用語集

| | |
|-----------------------|--|
| DME | Direct Marketing Expensesの略。販促費（広告宣伝費、リベート、販売手数料等）。 |
| FC（将来消費） | Future Consumptionの略。家庭等での将来の飲用を目的として購入される商品（例、1リットル以上のペットボトルや小型パッケージを複数本セットにしたマルチパック等）やFC需要の多いチャネル（例、スーパーマーケット、ドラッグストア、ディスカウンター等）を指す。 |
| HORECA | ホテル(Hotel)、レストラン(Restaurant)、カフェテリア(Cafeteria)の略。料飲店チャネル。 |
| IC（即時消費） | Immediate Consumptionの略。購入後、即飲用されることを目的として、適温（コールド、ホット）で提供する商品（例、缶や小型ペットボトル等、1リットル未満の小型パッケージやシロップ等）や、IC需要の多いチャネル（例、ベンディング、コンビニエンスストア等）を指す。 |
| OBPPC | Occasion（機会）、Brand（製品ブランド）、Package（パッケージ種類）、Price（価格）、Channel（販売チャネル）の頭文字をとったもので、消費の各機会に適した商品を提供するセグメンテーション戦略。 |
| プロフォーマ (Pro forma) | 実質業績。2017年1月から経営統合されていたものと仮定した業績。また、2018年の実績をその業績と比較したもの。 |
| PTC | Price, Terms and Conditionsの略。適切な価格（取引納価）取引条件。お得意さまと適切な価格（納価）取引条件を設定していくための社内のガイドライン。RGMとともに使われる。 |
| RGM | Revenue Growth Managementの略。利益を伴った売上成長を実現していくための戦略および様々な施策の総称 |
| RTM | Route-To-Marketの略。営業部門が売上成長を実現するためのフレームワーク、プロセス、実行手段などを定義したもの。 |

販売チャネル定義



| | |
|-------------|--------------------------------|
| ベンディング | 自動販売機を通じた消費者への直接販売 |
| スーパー・マーケット | スーパー・マーケットチェーン等への卸売り |
| ドラッグストア・量販店 | ドラッグストアチェーンやディスカウントチェーン等への卸売り |
| コンビニエンスストア | コンビニエンスストアチェーンへの卸売り |
| リテール&フード | 一般食料品店、酒販店、飲食店、オンラインショップ等への卸売り |
| その他 | 上記チャネル以外への卸売り |





THANK YOU

コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社
IR統括部

ir@ccbji.co.jp

<https://www.ccbj-holdings.com/ir/>

facebook: <https://www.facebook.com/ccbji/>


BOTTLERS JAPAN HOLDINGS INC.